

世田谷トラストまちづくりがおススメする

自分でもできる

雨庭

【あめにわ】

の手引き vol.2

雨庭の事例を5つご紹介します
あなたの家に合う雨庭を
探してみてください



雨水タンクによる
散水利用と
雨みちから地中に
雨を浸透させる

▶p.4



住宅2階のベランダでつくれる
雨庭とビオトープ

▶p.7



新築の防災倉庫を活かした
小さなスペースでもできる
立体的な雨庭

▶p.6



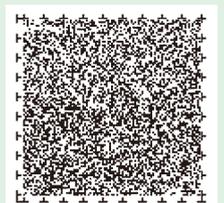
松の木がシンボルの庭で
和の趣ある植物を
中心とした2つの雨庭

▶p.5



水たまりが
できる箇所を
観察し
日当たり
環境を
想定した
3つの雨庭

▶p.3



防災と生物多様性豊かな まちづくりにつながる雨庭を あなたの家で作ってみませんか？

はじめに — この冊子について

個人宅等で実際に雨庭をつくってみたいと思った方が参考になるような雨庭の5つの事例をまとめました。

これまでに「世田谷グリーンインフラ学校※」で参加者と公園・緑地で手づくり施工した3.3m²(1坪)程度の「自分でもできる雨庭」を3事例、そのほか、建築家や造園会社へお願いして、家の新築に合わせて防災倉庫を活用した雨庭を1事例、戸建て住宅の2階ベランダの改修に合わせてつくった雨庭が1事例掲載されています。なお、基本となる雨庭のつくり方については、「雨庭の手引きvol.1」で紹介しています。詳しくは下記のQRコードからご覧ください。



雨庭の手引き vol.1

※雨庭づくりを実践し、その魅力や意義を地域で広めていくリーダーの養成講座



雨庭の設計を監修しました(p.6を除く)

神谷 博

世田谷グリーンインフラ研究会 世話人
法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員

雨庭の植栽の監修をしました(p.6,7を除く)

矢田陽介

ポタニカン代表／一級造園施工管理技士／自然再生士

雨庭とは何か

屋根や地面に降った雨水を集めて一時的に貯留し、ゆっくりと地面へ浸透させる庭のことです。近年、増加する集中豪雨により雨水が一気に下水道や河川に流れ込むリスクの軽減が期待できます。雨水タンクとセットで利用することで植物への水やりや災害時の利用にも役立ちます。土壌に直接、雨水が浸み込むことで地下水を豊かにし、雨庭に植物を植えることで生きものの生息域や移動空間を増やすこともできます。

「自分でもできる雨庭」とは

世田谷区は、東京都23区の中でも戸建て住宅が多い都市です。そのため、世田谷トラストまちづくりでは、区民が思わず取り組みたくなる、個人宅でも実践しやすい「自分でもできる雨庭」づくりをおススメしています。「自分でもできる雨庭」とは、次の(1)~(3)のことを指します。

- (1) ホームセンターなどで気軽に購入できる材料を使い、手づくりできる庭
- (2) ガーデニングの延長線上で取り組み、植物を育てる楽しみを享受できる庭
- (3) 様々な植物を植えることで生きものすみかとなる環境を提供できる庭

TOPIC

2024(令和6)年12

月、当財団のグリーンインフラに係る取り組みについて国土交通省及び東京都都市整備局より表彰を受けました。詳しくはQRコードをご覧ください。



雨庭に必要な道具と材料

●道具:

軍手、剣スコップ、巻き尺、長靴、汚れてもいい服装

●材料:

浸透貯留材

雨の浸透と貯留を促すために、既存の土のかわりに投入する材料です。雨庭をつくる場所を30cm程度掘ったのち、深さ15~20cm程度敷きこみます。大粒の「発泡ガラスカレット」「軽石」「単粒度砕石」など、いずれもホームセンターで購入できることが多い材料です。



発泡ガラスカレット



軽石



単粒度砕石

仕上げ材

透水性を良くするための浸透貯留材を敷き詰めたのち、仕上げに使う材料です。植物を施す場合は、残土と「腐葉土」「赤玉土」などをよく混ぜこんで使います。植物を植えたのち、保温、保湿、防草対策を兼ねてスギやヒノキなど針葉樹の樹皮(パーク)をチップにした「パークチップ」「マルチパーク」で表土を覆います。日当たりが悪い、浸透が悪い場所、枯山水のように仕上げたい場所は「玉砂利」で仕上げる方法もあります。

●植物を植えるタイプ



腐葉土



赤玉土



マルチング材



パークチップ



マルチパーク

●枯山水タイプ



玉砂利

水たまりができる箇所を 観察し日当たり環境を想定した 3つの雨庭

【区立奥沢二丁目公園(奥沢2-39-9)】

大雨が降ったときに水が溜まりやすい場所を観察し、3か所に雨庭をつくりました。【1】一日中日差しが当たり明るい場所は「スパイラルガーデン風雨庭」として、パーマカルチャー※の考えを取り入れたデザイン手法で、ハーブを中心に植え込みました。【2】北側に面した乾燥し日当たりの悪い場所は「ロックガーデン風雨庭」として、大きめの石を配置し水はけを改良しながら植栽を植え込みました。【3】午前中だけ明るい場所は「洋風

レンガ雨池」として、レンガを敷き込み、雨がたまる様子がわかるように荒木田土を使い雨池を施しました。

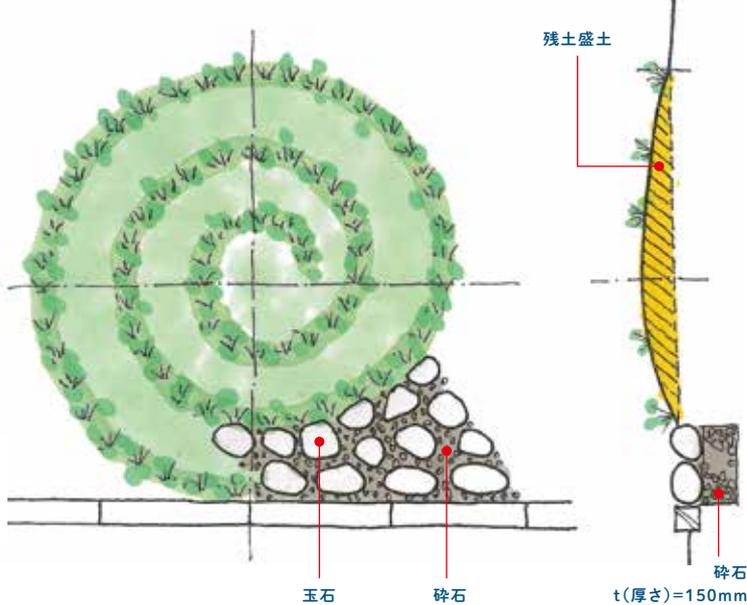
※パーマメント(永続性)、農業(アグリカルチャー)、文化(カルチャー)を組み合わせた造語。持続可能な農業を軸とした暮らし方や考え方を意味する。



基礎データ

●面積:【1】3.3㎡(1坪)、【2】1.4㎡ ●施工費:【1】2万円(浸透貯留材:1万円/植栽:1万円) 【2】2.7万円(浸透貯留材:1万円/植栽:1.7万円) 【3】3.5万円(浸透貯留材:2万円/植栽:1.5万円) ●主な材料:【1】浸透貯留材:砕石(30KG)/仕上げ材:玉石、腐葉土、赤玉土、マルチパーク/植物、球根:12種類・25株【2】浸透貯留材:砕石(100KG)/仕上げ材:【1】と同じ/植物、球根:9種類・14株【3】雨庭=浸透貯留材:発泡ガラスカレット(160L)/雨池=貯留材:荒木田土/植物、球根:16種類・30株/その他:レンガ、荒木田土、腐葉土、赤玉土、マルチパーク
●つくった人: 世田谷グリーンインフラ学校2期生ほか ●制作時期: 2022年11月、2023年5月

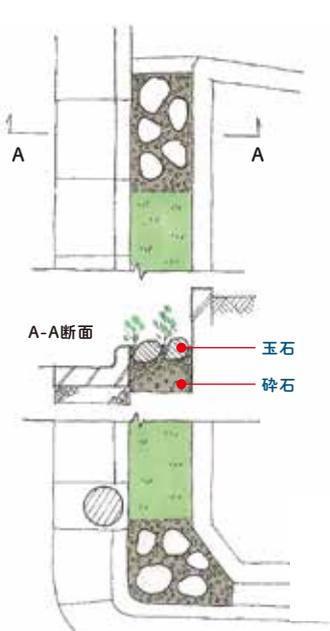
【1】スパイラルガーデン風雨庭



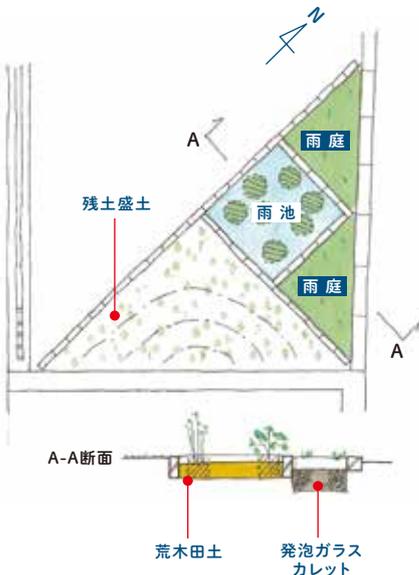
植物選びのポイント

【1】スパイラルはハーブや野菜など食べられるものやお茶にできるもの、暮らしに活用できる有用植物を、【2】ロックガーデンは、乾燥を好むグラス類やエッジの効いた草姿のものでドライガーデンを演出。【3】雨池は在来種をメインにシェードを好むものや湿生植物を選択した。また花のない冬場や植えた植物が膨らむまでの間は花期の長い一年草で修景した。

【2】ロックガーデン風雨庭



【3】洋風レンガ雨池



【1】スパイラルガーデン風雨庭



【2】ロックガーデン風雨庭



【3】洋風レンガ雨池



雨水タンクによる 散水利用と雨みちから地中に 雨を浸透させる

【世田谷トラストまちづくりビジターセンター(成城4-29-1)】

寄棟屋根の1面の屋根からの雨を受け止める雨樋に雨水タンク(250L)を接続。雨水タンクからオーバーフローする雨を雨庭に浸透させる仕組みです。

タンクの蛇口まわりは水を汲む作業スペースとして、透水性よく乾燥しやすいように玉砂利で仕上げました。タンクに貯めた水は植物へ散水するために利用します。さらに、雨庭から西へゆるやかな傾斜の先に野川があるため、浸透した雨を川へ導くため

の雨みちをつくっています。

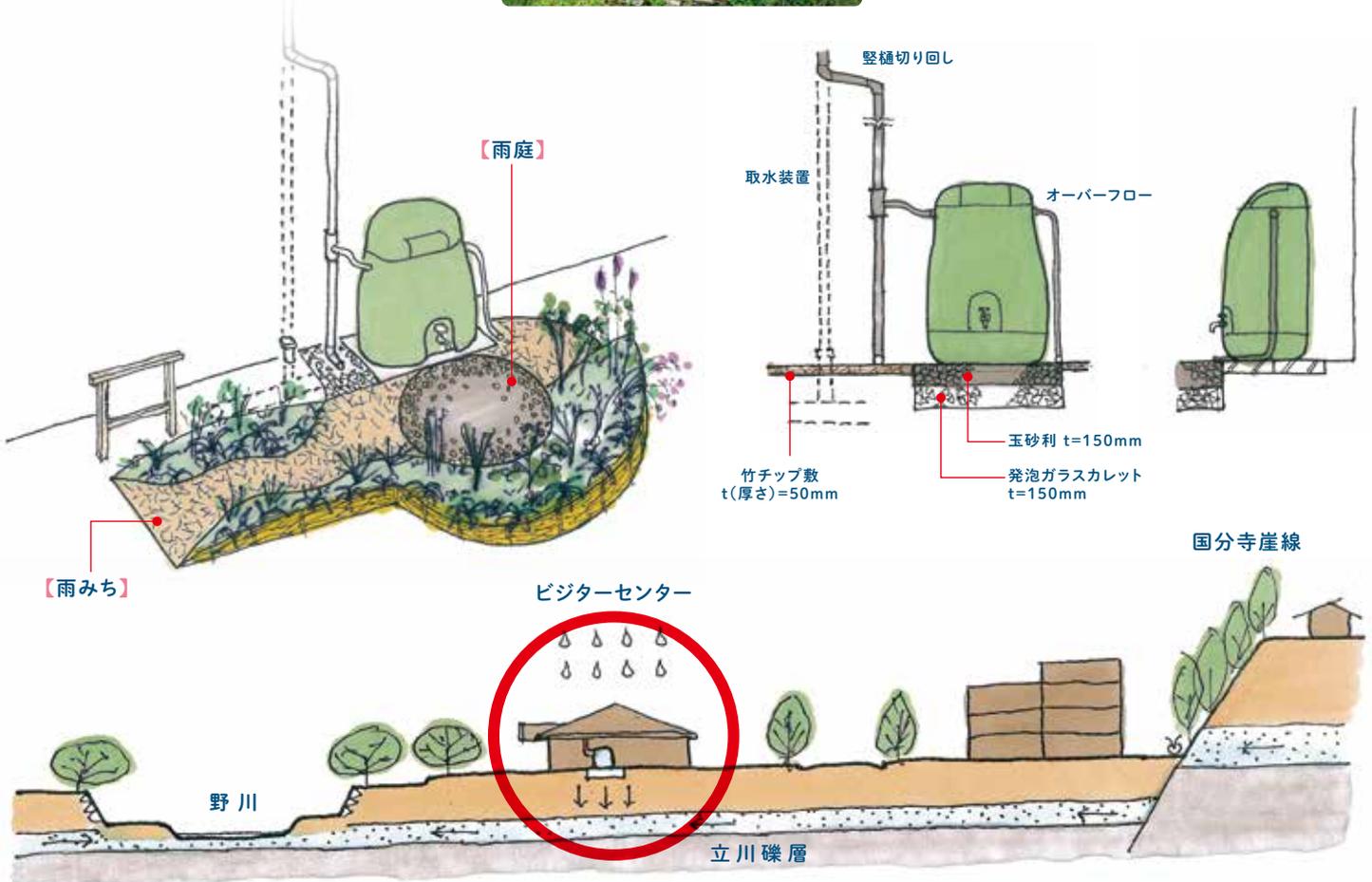
雨みちは、簡易な透水性舗装の役割を果たし、5cm程度クワで掘ったのち竹チップを敷きこみました。



基礎データ

●面積:3.3㎡(1坪) ●施工費:8万円(浸透貯留材:2万円/植栽:2万円/雨水タンク:4万円) ●主な材料:【雨庭】浸透貯留材:発泡ガラスカレット(180L)/仕上げ材:玉砂利(150KG)【雨みち】浸透貯留材:碎石(100KG)/仕上げ材:竹チップ 90L、植物、球根:15種類40株・その他:腐葉土、赤玉土、竹チップ(マルチング材) ●つくった人:世田谷グリーンインフラ学校3期生

●制作時期:2023年11月



植物選びのポイント

限られたスペースでも対応できる、成長がゆっくりであり草姿の広がらないユリ科やヒガンバナ科、イネ科などの丈夫な単子葉植物の仲間をメインに、鑑賞価値の高いナチュラルな風情の宿根草、秋植え球根類などを加えて、年間を通してローメンテナンスで美しく季節ごとに花や実、枯れた風情も楽しめるもので構成した。



アガスターシェ
ブルーフォーチュン



アガパンサス



アリウム
アトロプルプレウム



アリウム
丹頂



オーソニガラム



チャイブ



ペンステム
ハスカーレッド



ミュレンベルギア
カピラリス



庭の手入れで出た剪定枝を、網状に組んで土留めも兼ねた粗朶柵。自然素材のために景観にもマッチしやすい。

松の木がシンボルの庭で 和の趣ある植物を中心とした 2つの雨庭

【弦巻四丁目松の木鈴木市民緑地(弦巻4-22-2)】

カキ、カリン、ユズなどの庭木が残る松の木がシンボルとなる日本庭園風の庭です。敷地の南側には水道設備がなく散水に苦労していたため、倉庫の屋根を利用して雨樋から雨水タンク(250L)に雨をため、オーバーフローした水が雨庭に流れる雨庭を1か所。もう1か所は、舗装された園路からの雨水を浸透させる雨庭をつくりました。この雨庭は、近くに井戸(現在は利用していない)があるため地

下水を豊かにすることにも繋がります(地下水涵養)。

なお、本雨庭は「せたがやグリーンインフラガイドライン<本編>p.14※」にある雨庭の大きさ:1m(長さ)×1m(幅)×0.3m(深さ)1か所当たりの浸透量<0.702m³/hr>を参考としてつくられました。

※世田谷区がグリーンインフラについて、区と区民、事業者がそれぞれの立場で取組むための指針を示すために発行したガイドライン(令和6年3月発行)。「本編」「実践編」「資料編」の3部構成となっている。

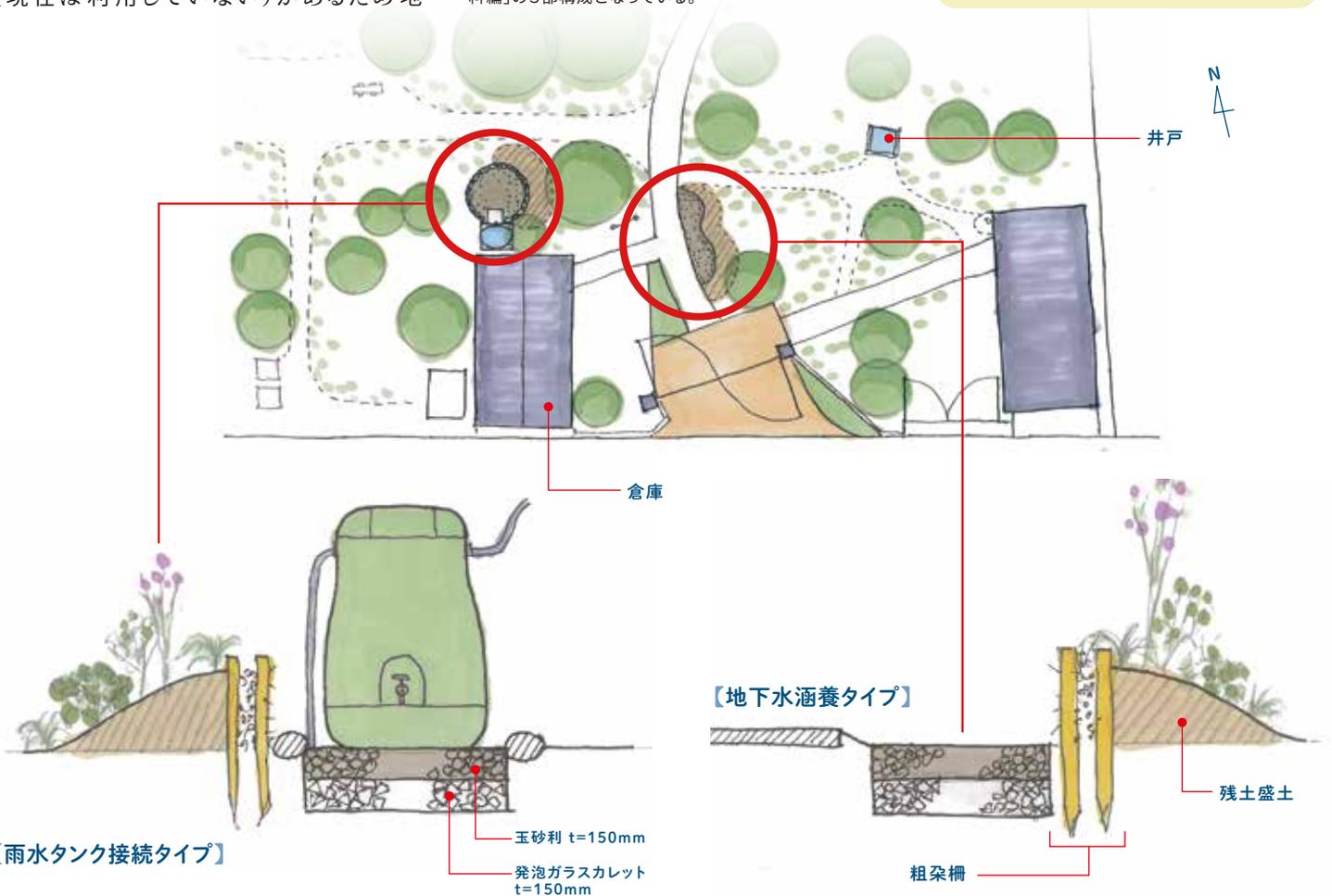
基礎データ

●面積:3.3㎡(1坪)*2か所 ●施工費:12万円(浸透貯留材:4万円/植栽:4万円/雨水タンク:4万円) ●主な材料:【雨庭1か所あたり】浸透貯留材:発泡ガラスカレット(180L)/仕上げ材:玉砂利(250KG)・植物、球根18種類/60株・植物植え込み用:腐葉土、赤玉土、竹チップ(マルチング材)

●つくった人:世田谷グリーン

インフラ学校4期生 ●制作

時期:2024年11月



【雨水タンク接続タイプ】

【地下水涵養タイプ】



植物選びのポイント

昔からの緑地で在来や既存の植物が多い環境のため、それらと混じらない、それでいて全体と調和する和の趣のもので、既存のものに斑入りや園芸種で代替できるもの、丈夫なユリ科、イネ科、ヒガンバナ科などの単子葉植物の仲間、管理のしやすい秋植え球根類などで構成した。



新築の防災倉庫を活かした 小さなスペースでもできる 立体的な雨庭

【雨庭の家／世田谷区祖師谷】

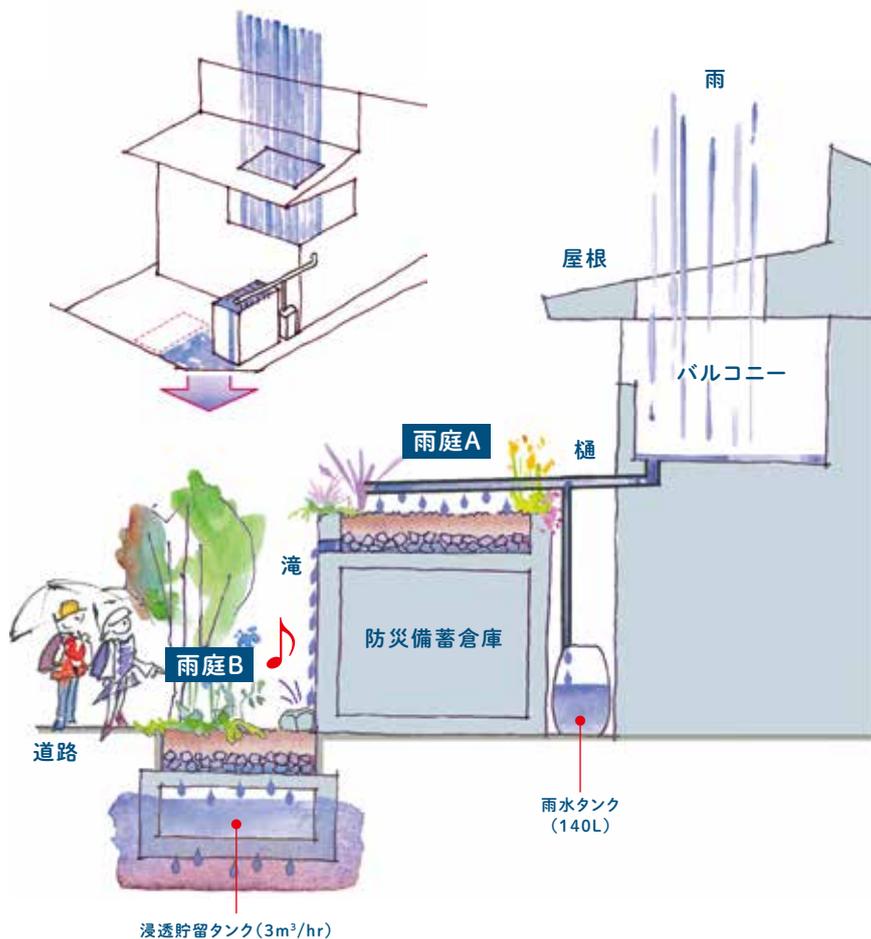
家の新築に合わせて防災倉庫を新設しました。バルコニーに降った雨水は防災倉庫の上の雨庭A(1.1m²)に一時的にたまり、そこから溢れた雨水は滝となってさらに下にある雨庭B(1.4m²)に浸透します。

その後、地中の浸透貯留タンクへ導かれる仕掛けです。この雨庭は、雨水の浸透貯留だけでなく、雨水の動きや流れる音が聞こえ、雨を五感で感じる楽しさがあります。

雨庭は敷地の角にあり、地域の人々にも雨

庭の仕組みが見えるようになっています。

※第5回グリーンインフラ大賞において「優秀賞」受賞



基礎データ

●面積：雨庭A(1.1m²)+雨庭B(1.4m²) ●施工

費：70.5万円※内、35万円は区助成金活用(雨

水浸透ます、雨水タンク、緑化助成)／浸透貯留

タンク：50万円／浸透貯留材：10万円／雨水タ

ンク：4.5万円／植栽：6万円*シンボルツリー含

む) ●主な材料：【雨庭A+B】・浸透貯留材：

合計750L<上層部：発泡ガラスカレット小粒+

ピートモス発泡素材/下層部：発泡ガラスカレット

大粒>・樹木：中木1本・植物：25株 ●つくった

人：施主、株式会社フレイム(設計)，

株式会社植香彩

(植栽施工)



植物選びのポイント

植栽基盤は土を使わず屋外用のハイドロカルチャー資材を活用。浸透性と保水性を備えた土の代用品と考えることで、経年による土の沈みを軽減し、植物の立体感を保つことができる。施主から維持管理の手間を減らしたいとの要望を受け、乾燥に強いハーブや花も次々とあがる宿根草を選定。



ウェストリンギア



エリンゲロン



オレガノ



クリーピング
タイム



シャスター
デイジー



シロタエギク



セイヨウ
ノコギリソウ



ラムズイヤー



レモンタイム



ローズ
ゼラニウム

住宅2階の ベランダでつくれる 雨庭とビオトープ

【ナギの家 / 世田谷区弦巻】

戸建て住宅2階の広いベランダに大きな雨水プランターを設置して礫耕栽培方式の雨庭をつくりました。雨水タンク(240L)を設け、ここから雨庭プランターに給水してプランター内で水循環をさせています。循環ポンプは小さなソーラーパネルで動かし、植物からの蒸散と蒸発により消費された分だけ雨水が補給されています。植栽基盤は土壌ではなく、多孔質の発泡ガラスカレットを用いて軽量化を図っています。



基礎データ

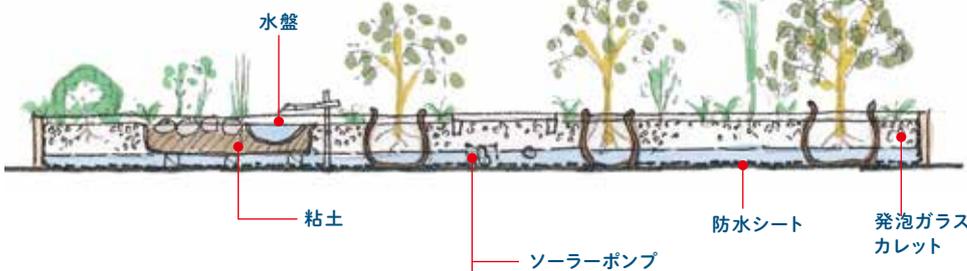
●面積: 雨庭プランター4.3㎡ ※ベランダ全体32㎡ ●施工費: 68万円 ※内、3.5万円は区助成金活用(雨水タンク) / 雨水プランター造作: 40万円 / 浸透貯留材: 12万円 / 雨水タンク: 9.75万円 / 植栽: 7万円 ●主な材料: 浸透貯留&仕上げ材: 発泡ガラスカレット(1,200L) / 仕上げ材(一部): 玉砂利(20L)・樹木: 中木5本/低木14本・植物93株 ※樹木は雨庭プランター以外の鉢植えも含む

●つくった人: 小川純子(施工), NPO雨まちづくりサポート(設計), 株式会社プラネット(植栽施工)

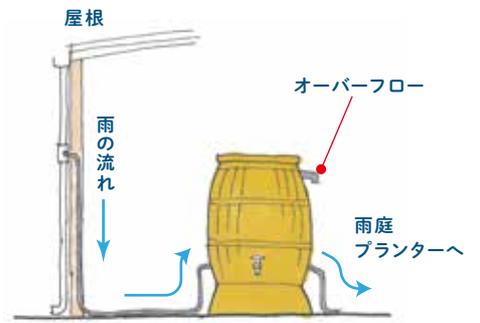
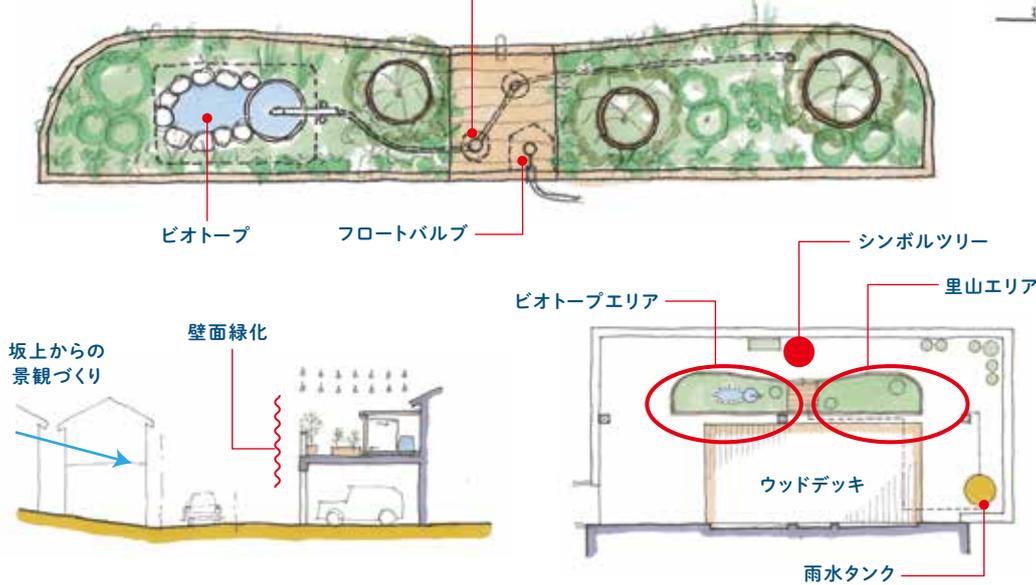
●制作時期: 2024年12月



【雨庭プランター断面図】



【雨庭プランター平面図】



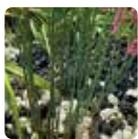
植物選びのポイント

和種を主とし、雨庭プランター部分の里山エリアではモッコクを主木としてマンリョウ、キンカンなどの実物を植え、地被にツツブキ、ヤブコウジなどを配した。ビオトープエリアはイグサやセキショウなどの水生植物を植えた。植木鉢には全体のシンボルツリーとしてナギの木を中央に配し、手摺の壁面にムベなどの蔓ものを這わせた。

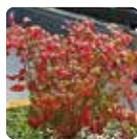
ビオトープエリア



アセビ



イグサ



オタフクナンテン



セキショウ



フクソウ



マツバギク



ユキヤナギ



エリカ

里山エリア



ガクアジサイ



キンカン



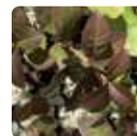
ツツブキ



ハナニラ



斑入りヤブラン



ヤブコウジ

シンボルツリー: 主木



ナギ



モッコク

よくある質問

雨庭は蚊が増えませんか？

蚊は、たまり水があると繁殖します。一方で、雨庭は土壌の排水・浸透力が高まるので、大雨が降れば一時的に雨が溜まることもあります。通常は乾いています。したがって、一時貯留の雨庭には蚊は湧きません。雨を貯留できる仕様にすればビオトープとしてメダカやヤゴ(トンボの幼虫)が住みつくことで蚊を食べてくれます(神谷)。



ビオトープの作り方はコチラ

『生きものを楽しむガーデニング～庭やベランダに身近な生きものを呼ぶ工夫』
発行者：一般財団法人世田谷トラストまちづくり／発行年：2010年／価格：一般1,000円、会員800円



雨水は汚れていませんか？

雨そのものはきれいですが、雨水は屋根の汚れを拾います。降り始めの雨を除けば(初期雨水カットという)、雨水は水道水より不純物が少なく、私の家では、フィルターでろ過をした上で飲料用に使っています。味もまろやかで、雨水で淹れたコーヒーは美味です。



植物は在来種を選んだほうがよいですか？

里山や自然の多い場所では、生物多様性の観点から在来種でも別の場所からは持ち込まないことが基本です。区内でも市街地ではそれほど気にしなくてもよいですが、こぼれ種で増えるような強い種は避け、増えても元からいた植物と区別がつくような園芸種のほうがよい場合もあります。選ぶ際は、在来種に限らず、どんな庭にしたいのか目的に沿うようなものを周りの環境に配慮しながら検討しましょう(矢田)。

雨庭に合う植物は何ですか？

雨庭の環境から言うと、乾燥にも一時的な湿潤にも強いもので、イネ科、ユリ科、ヒガンバナ科、ネギ科などの多年草や球根類などの丈夫な単子葉植物が向いているかと思います。地味にならないように斑入りやカラーリーフを取り入れてもよいでしょう。「手引き2」で紹介した植物を参考にしながら、まずは試してみましよう。おのずとその場所に合うものが残っていくので、よく観察し育てる楽しみを味わいましよう(矢田)。

なぜ今、雨庭が注目されているのか？

東京農業大学 地域環境科学部造園科学科 福岡孝則
ランドスケープデザイン・情報学研究室 教授

雨庭とは、敷地内に降った雨水を集めて一時的に貯留・浸透させるための窪地のことをいいます。主に屋根や舗装面、道路などの雨水が集められ、土、砂、碎石などと植栽を組み合わせた浅い窪地内に流れ込みます。大雨が降れば、窪地には一時的に水が溜まるという仕組みです。

雨庭に注目が集まる理由はその多機能性にあります。雨水を一時的な貯留・浸透による雨水の流出抑制、水質浄化などの水に関する機能に加えて、植栽等による暑熱緩和、生物多様性の保全、雨庭をつくることで諸課題の解決にも寄与する点が多くの人々の興味を引き付けるのだと思います。

もう一つ雨庭が魅力的なのは、雨水を通じて変化する雨庭の風景の変化を楽しんだり(景

観向上)、水循環について学んだり(教育)、そしてその楽しみを隣人と共有する喜び(コミュニティ)などがあげられるでしょう。そして、自分でもつくれる手軽さでしょうか。住宅の中の小さな雨庭で本当に水災害を減らせるの？と

考える方もおられるでしょう。一つ一つは小さくても数千ヶ所集まれば大きな力になるでしょう。世田谷区では約7割が住宅地であり、小さいものをたくさんつくること、が一つ世田谷らしいグリーンインフラのかたちなのではないでしょうか。

実は、日本の私たちの生活の中には古くから自然を活

かし、共生する文化があります。その地域や土地に適したグリーンインフラのかたちをさぐるために、雨庭は小さな庭を通じて地域の大きな環境とつながるための大切な役割があるのではないかと考えています。



【お問い合わせ】

(一財)世田谷トラストまちづくり
トラストみどり課

〒156-0043 世田谷区松原6-3-5 梅丘分庁舎1階
受付時間／平日8:30～17:00

2025年3月発行／企画・編集・発行：(一財)世田谷トラストまちづくり

電話：03-6379-1624

ファックス：03-6379-4233

メール：stm.202@setagayatm.or.jp



Facebook



Instagram



X (TWITTER)

そだてよう みどりの世田谷
世田谷みどり33

©世田谷区

